

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
社会福祉学特論Ⅲ (高齢者福祉特論、地域 包括ケア特論)	4単位60時間(30コマ) 講義科目	博士前期1年次 後期開講	☑・不可
科目責任者	児玉 寛子		
担当者	児玉 寛子、工藤 英明		
1. 科目のねらい・目標			
<p>・高齢者福祉に関心のある受講生を対象に、個人・家族・社会の視点から高齢社会の現状と課題について明らかにする。また高齢者福祉に関連する理論、概念を理解し、社会福祉施策や社会福祉実践に適用できる方法を探求する。</p> <p>・地域包括ケアの概念について理解し、高齢者・家族への介入方法を習得する。また地域包括ケアを支える医療と介護の連携について理解するとともに、地域社会資源のネットワークを構築するための方法について学ぶ。</p>			
2. 授業計画・内容			
児玉担当	工藤担当		
1) 高齢者保健福祉制度の歴史的展開	1 5) 高齢者福祉サービス		
2) 高齢者の健康と生活①	1 6) 介護保険サービス		
2) 高齢者の健康と生活②	1 7) 介護保険サービスの変遷過程		
3) 高齢者と家族・介護①	1 8) 介護保険制度の課題①		
4) 高齢者と家族・介護②	1 9) 介護保険制度の課題②		
5) 高齢者の住環境と地域生活①	2 0) 高齢者ケアマネジメント		
6) 高齢者の住環境と地域生活②	2 1) 地域連携の理論・概念		
7) 高齢者の就業と経済状況①	2 2) 地域包括ケアを支える医療・介護の連携①		
8) 高齢者の就業と経済状況②	2 3) 地域包括ケアを支える医療・介護の連携②		
9) 高齢者の虐待と権利擁護①	2 4) 地域包括ケアシステム構築とネットワーク		
1 0) 高齢者の虐待と権利擁護②	2 5) 地域共生社会		
1 1) 高齢者と認知症ケア①	2 6) 地域共生社会の展開事例		
1 2) 高齢者と認知症ケア②	2 7) 今後の高齢者福祉についての展望①		
1 3) 高齢者への意思決定支援	2 8) 今後の高齢者福祉についての展望①		
1 4) 高齢者の終末期ケア			
工藤・児玉担当	2 9) プレゼンとまとめ①		
	3 0) プレゼンとまとめ②		
3. 教科書、参考書			
適宜、講義の中で紹介する。			
4. 成績評価方法			
課題レポート(30%)、プレゼン(50%)、参加態度(20%)で評価する。			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
夜間開講を基本とするが、受講生と相談の上、時間を調整する。			
7. その他			
WEB ラーニング対応可能。各担当教員は、それぞれ日程調整の上、同時並行で進める。 オンデマンドは実施しない。			